

住空間デザイン学科2年生の授業内容をご紹介します！

小店舗を併用した住宅の計画及び設計を行う、建物のトータルなデザインスキルの習得を目指す授業です。

コンセプトの設定

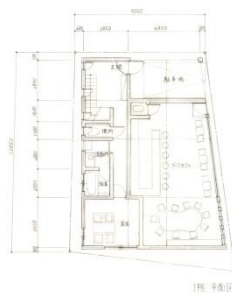
住宅のコンセプトと指定された中から敷地の場所を決め、敷地見学に行きます。

そして、百分の一のスケールで敷地の模型を作りコンセプト案と見学しに行った時に撮影した敷地の写真をまとめ、プレゼンテーションを行います。

建築プラン作成

住宅とプラスα(店舗)の案を具体的な案を練っていきます。

先生と一対一で指導、相談等を行う時間があります。これをエスキスといいます。毎回の授業でエスキスを行うので、細かいところまで指導してもらうことができ、安心です。



平面図

実際の大きさの1/100のスケールで図面を描き、模型を制作します。

どちらも細かい作業になるため、大変なところもありますが、自分のプランが形になっていくのはとても楽しいです。

模型制作中!



1/100 スケール模型



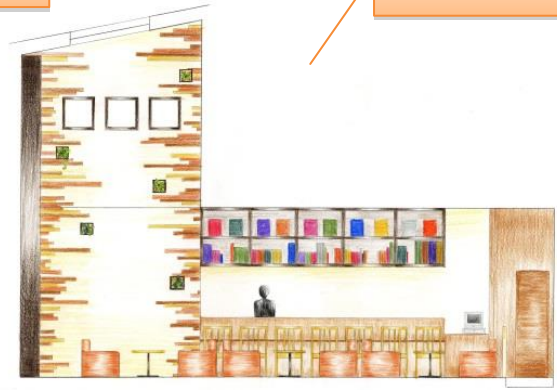
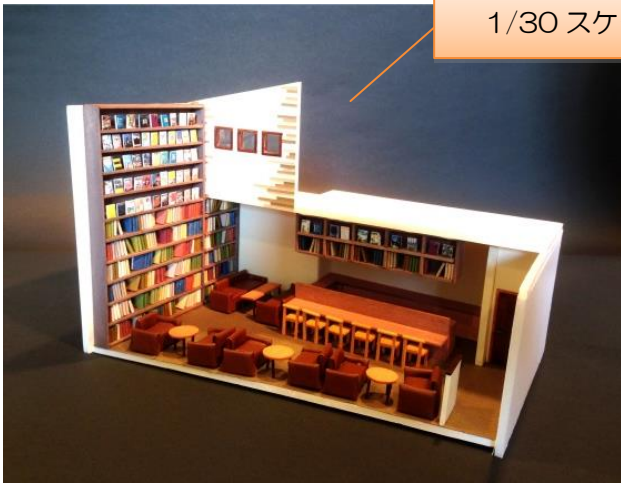
インテリアプラン作成

建築プランが完成した後は、+α部分のインテリアプランの制作に移ります。

インテリアプランは実際の大きさの1/30のスケールで作成し、家具、壁紙、床などの細かい素材まで決め、図面や模型で表現します。

1/30 スケール模型

展開図



講評会

最後の授業の時間に講評会を行います。最終発表では他の人たちの作品も拝見するのですが、それもとても勉強になります。この人は何を考えているのか？とか自分にはないアイデアが発見できます。努力し根気強く自分の作品と向き合うことで、たくさんの事を学ぶことができる授業です。



自分の設計したプランを全員の前でプレゼン！

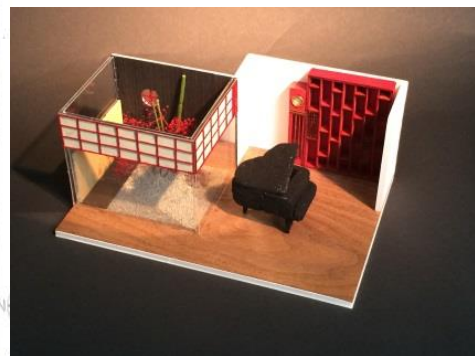
先生コメント



三戸先生

設計製図Ⅰは、プラスαの機能を持つ住宅の設計をします。通常の建築設計に加えて、プラスα部分についてはインテリアデザインまで設計するところが、住空間デザイン学科の特徴です。連動して学ぶことで、両方の理解が深まること、また、技術的にも縮尺の違う模型制作や図面の表現も修得できます。特にインテリア模型は、女性らしい感性に溢れた、楽しい作品が出来上がっています。

生徒コメント・作品



国分香那さん

設計するに当たりこだわった点は、狭いスペースを広く見せるようにしたことです。天井を高くとり、壁を作らずガラスで囲んだ中庭で部屋を区切ることによって奥行きが感じられるスペースにしました。

また、中庭を囲んだガラスの上部にサイズの大きい障子をはめ込み雪見窓のようにすることで気品のある庭になるよう演出しました。



川越さとりさん

+@カフェのある家

今回この家をつくるにあたってこだわった点は、内装の色合いと中から見える外の景色です。

アットホームなカフェを作りたいかったので優しい色合いにするために、黄色の壁にレンガ模様、椅子や机には濃淡の違う茶色を取り入れました。

外の庭を見えるようにした大きい窓も特長です。